

作成日：令和4年10月20日

令和4年度第4回 高松圏域自立支援協議会 身体障害者支援部会議事録

日付	令和4年10月19日（水）
時間	15時15分～16時30分
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センターAV会議室
参加機関等	障害者生活支援センターあい、障害者生活支援センターたかまつ、高松市障がい福祉課、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計7名

議題1：運営会議の報告

議事	<p>○災害を見据えた障害者支援に関すること 9月運営会議で共有された内容を報告。 モデルケースの選定時に可能な範囲で協力することを確認。モデルケース選定基準の一つである「移動が困難な方」について、身体的原因による移動困難者だけでなく、行動障害、認知面の要因、家族状況等も含め移動困難な方ということを共有。</p> <p>【質問、意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・他部会でも災害時の取り組みをしているのか？ →相談支援部会は取り組みを報告しているとの報告あり。・ホテルに避難されたが受け入れ後に利用料を請求されたケースがある。金銭面を考えて活用しなくてはいけない。・モデルケース抽出時にピアサポーターに協力してもらっても良いのではないか。・今後、リスクが高いケースは避難個別支援計画を立てなければならないのか？相談支援専門員がおこなうのか？ →未定 <p>高松市の場合、現時点で個別避難計画立案について明確な情報がない。行政内でも他課連携して取りくまなければならない課題である。</p>
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルケース決定後の動きはどうなるのか。具体的なことがあれば教えてほしい。 <p>→モデルケースの選定に必要な項目を11月の運営会議にて協議することが決まっている。モデルケースをどのように取り扱うかの協議はまだなされていない。</p>
今後の動き	<p>今後も運営会議では災害時に関する取り組みを継続していくので身体部会からも報告、意見を上げていく。</p>

議題2：講演会の企画について

議事	<p>講演会企画について災害弱者安心ネットワーク高松へ協議し、当事者講話を企画するのであれば協力可能との返答を得ることができた。</p> <p>避難行動要支援者台帳登録と災害時個別避難計画を立てることを経験した当事者から感じたことや困った事、良かったことを話していただくという内容で今年度開催できるか調整をおこなう。</p>
決定事項	<p>講演会は今年度内に開催する方向で調整を開始する。</p>
今後の動き	<p>① 登壇者へ依頼し、開催日程や会場の調整をおこなう</p>

議題3：ピアサポート活動に関すること

議事	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度高松圏域のピアサポーター登録希望者で身体障害者が10名弱おり、疾患も多岐にわたることを共有。 ・今年度開催されたピアサポーター養成講座では身体障がい者に対する配慮不足を感じる場面もあった。来年度は申し込み情報から事前に配慮すべきことを考え対応したいので、身障部会にも協力を依頼するかもしれない。 →養成講座申込書に配慮を求める点を記入する欄があるが、具体的に書かない方も多いと思う。それを念頭に置き配慮を考える必要がある。 ・今後身体障がいのピアサポーターが活躍できる場を開拓する必要がある。
----	---

	<p>→障害者生活支援センターたかまつでおこなっているピアサポーター派遣事業でも活動の場を開拓することが課題となっている。個別支援の依頼は年に数件しかなく、マッチングの段階で同じピアサポーターに依頼する現状が続いている。</p> <p>・活躍の場を増やすためには普及啓発に力を入れていく必要があるのではないか？</p> <p>→パンフレットを改定するのであれば、検討段階で内容を身体部会にも共有いただき意見を出したい。</p> <p>・活躍の場を考えるためにはどんな方が登録されているか知る必要がある。身体の方だけで茶話会などをしてはどうか？</p>
今後の動き	ピアサポーターに関することを主で取り組んでいる精神保健福祉部会と連携できるよう働きかける。